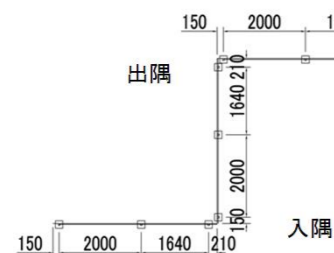


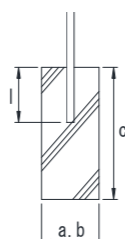
ステラP・Cフェンス (傾斜部)

① 柱の位置を決め、基礎を設置します。

- 直線部、柱間隔は柱芯々2000mmピッチで割付けてください。
- 傾斜部の柱間隔は斜面長さ2000mmピッチで割付けてください。
- 傾斜部は現場で勾配を計測し、パネルは勾配に合わせて1°単位で(最大45°まで)製作とします。



寸法 型式	基礎寸法 a × b × c mm	埋込寸法 l mm
H120	180 × 180 × 450	200
H150	180 × 180 × 450	250
H180	180 × 180 × 450	300



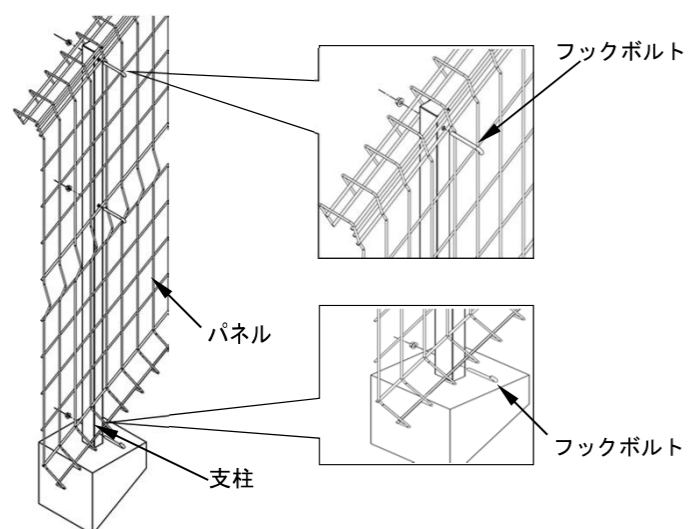
※ 基礎寸法は参考と致します。

勾配(縦断、横断)により基礎寸法が変わりますので都度ご相談ください。

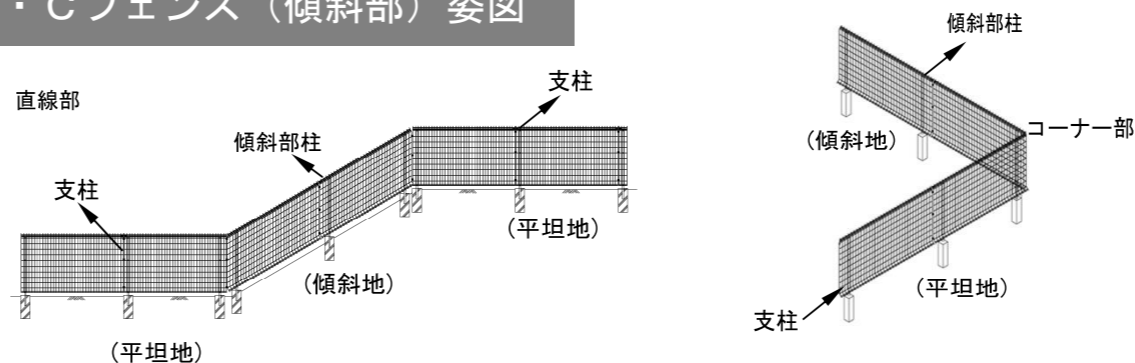
② 支柱を建てます。

③ パネルを支柱にフックボルトで仮止めします。

- フックボルトの向きは、下端部のみ上向きです。
- H-120はフックボルト3ヶ所で固定します。
- H-150, H-180はフックボルト4ヶ所で固定します。

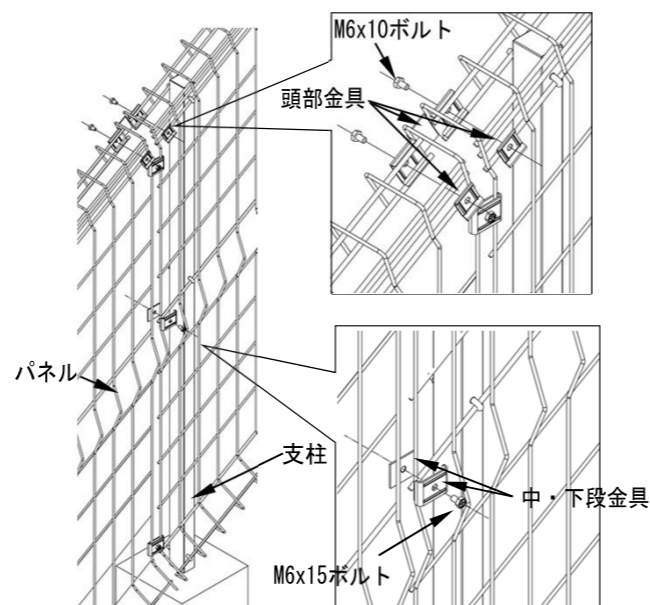


ステラP・Cフェンス (傾斜部) 姿図



④ パネルを接続させます。

- 頭部金具は、パネル端部の2本の横線、縦線を固定させます。
- 中・下段金具は、パネル端部の縦線を固定させます。
- H-120はパネル接続金具で3ヶ所、H-150, H-180は4ヶ所固定させます。



⑤ 金具を本締めした後、フックボルトの本締めを行います。

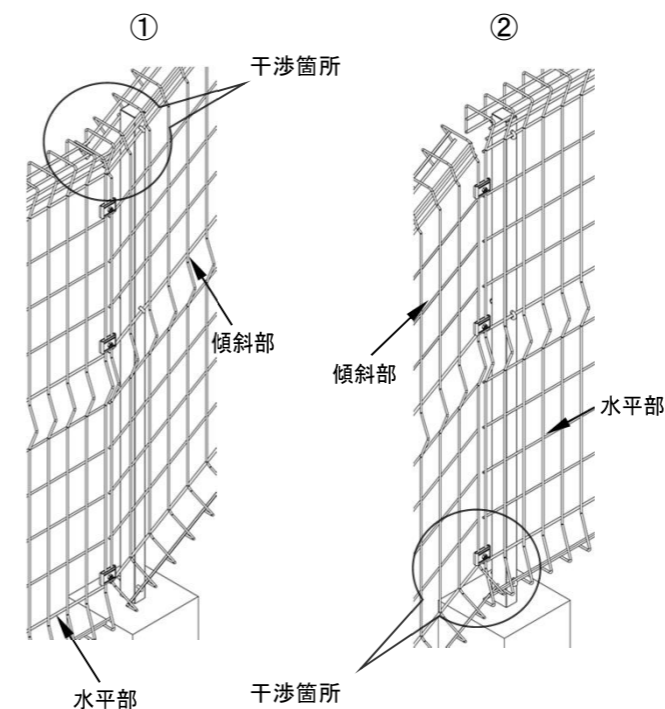
⑥ 短スパンを組立ます。

- 短スパンは柱間隔に合わせてパネルを切断します。
- 切断部は現地補修ペイント塗布または保護キャップ付とします。

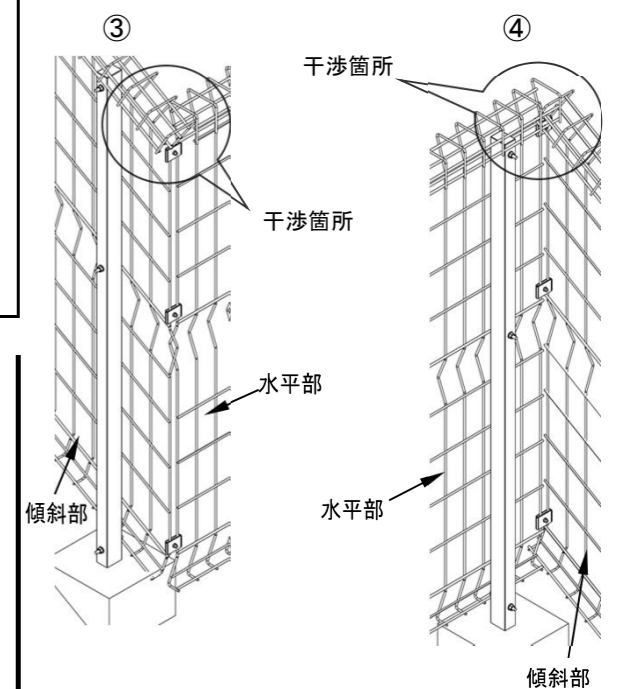
干渉箇所

- パネルが干渉する箇所は現地合わせてカットとします。
- パネルの干渉による切断部は現地補修ペイント塗布または保護キャップ付とします。

- ①直線上で、平坦地から傾斜地まで、上りの場合
- ②直線上で、平坦地から傾斜地まで、下りの場合



- ③コーナー部(入隅)で、平坦地から傾斜地まで、上りの場合
- ④コーナー部(出隅)で、平坦地から傾斜地まで、下りの場合



- ⑤コーナー部(出隅)で、平坦地から傾斜地まで、上りの場合
- ⑥コーナー部(入隅)で、平坦地から傾斜地まで、下りの場合

